

第 2 章 貨物管理関係手続

貨物情報がシステムに登録されている貨物について、システム参加保税地域等における関税法第 32 条（見本の一時持出）、第 36 条第 2 項（保税地域についての規定の準用等）、第 40 条（貨物の取扱い）に規定する手続及びその他の貨物管理に係る手続を行う場合は、この章の定めるところによる。

なお、機用品の在庫管理について、システムを使用して行う場合は、税関手続関連（航空編）-機用品関係手続-の定めるところによる。

第 1 節 混載貨物関係手続

1 HAWB情報の登録

前章第 2 節 1（積荷に関する事項の報告）によりシステムに登録された又は登録予定のAWBが、HAWBにより仕立てられている場合は、混載業者が通関手続のため、HAWB単位にMAWBに係る貨物（以下この章において「MAWB貨物」という。）を分割し、HAWBに係る貨物（以下この章において「HAWB貨物」という。）の情報をシステムに登録する。

また、混載業者の利用者コードに対し、HAWB貨物の登録と併せて前章第 2 節 1（積荷に関する事項の報告）に定める積荷目録の報告を行う旨がシステムに登録されている場合は、HAWB貨物の登録と併せてHAWB貨物に係る積荷目録の報告を行う（以下この節において「積荷目録事前報告処理」という。）。

(1) 登録の単位

HAWB情報の登録は、MAWB 番号ごとに 1 単位とする。

(2) 積荷目録事前報告処理を利用するための事前手続

積荷目録事前報告処理を利用する場合、混載業者は、自らの利用者コードと積荷目録の報告に用いる利用者コード（航空会社（機長代行者））をシステム上関連付けて登録するために、あらかじめNACCSセンターに対しNACCSセンターが定めた方法で申込みを行う必要がある。

◎ 留意事項

- ・利用者コード（航空会社（機長代行者））をシステムに登録するためには期間を要するため、速やかに当該申込みを行う必要がある。
- ・積荷目録事前報告処理を利用した場合、ハウスマニフェストに係る積荷目録の報告は利用者コード（航空会社（機長代行者））により実施されたこととなる。
- ・本登録を行った利用者コード（混載業）で「HAWB情報登録（輸入）」業務（業務コード：HCH01）を実施した場合、必ず積荷目録事前報告処理が実施される。

(3) 登録の方法

イ 呼出しによる方法

「HAWB情報登録（輸入）呼出し」業務（業務コード：HCH）を利用して、次の事項を入力し送信することにより、HAWB情報の内容が「HAWB情報登録（輸入）呼出し結果情報」（出力情報コード：AAS0260）として応答画面に出力されることから、出力された内容を確認の上、後記ロ（呼出しによらない方法）に準じて追加又は訂正を必要とする事項を上

書き入力し送信する。

[1] MAWB 番号（「MAWB 番号＊」欄）

MAWB 番号を必須入力する。

孫混載仕分けの場合は、HAWB 番号を入力する。

[2] 孫混載表示（「孫混載表示」欄）

孫混載仕分けの場合は「Y」を入力する。

[3] 到着便名 1（「到着便名＊」欄左）

航空会社コード（「業務コード集」参照）（2 桁）＋フライトナンバー（3 桁又は 4 桁）を必須入力する。

フライトナンバーの 1 桁目から 3 桁目までは数字、4 桁目は英数字での入力が可能である。

[4] 到着便名 2（「到着便名＊」欄中）

到着便名の日付部を「DDMMM」（例：1 月 1 日の場合は「0 1 J A N」）の形式で必須入力する。

[5] 到着空港（「到着便名＊」欄右）

到着空港の I A T A コード（「業務コード集」参照）を必須入力する。

[6] ジョイント混載（「ジョイント」欄）

1 つの MAWB 貨物が複数の混載業者によって仕立てられている（以下この章において「ジョイント混載」という。）場合は、「J」を入力する。

[7] 委託元混載業（「委託元混載業」欄）

入力者が代理入力者の場合は、委託元混載業者の利用者コード（「業務コード集」参照）を入力する。

ロ 呼出しによらない方法

「HAWB 情報登録（輸入）」業務（業務コード：H C H 0 1）を利用して、次の事項を入力し送信する。

なお、積荷目録事前報告処理を利用する場合、前章第 2 節 1 (2)（報告の時期）に規定する時までに実施すること。

(イ) HAWB 貨物の登録のみを行う場合

[1] 委託元混載業（「委託元混載業」欄）

入力者が代理入力者の場合は、委託元混載業者の利用者コード（「業務コード集」参照）を入力する。

[2] 税関官署（「税関官署」欄）

税関官署コード（「業務コード集」参照）を入力する。

入力がない場合は、「到着便名＊」欄右に入力された内容により、到着空港を管轄する税関官署が自動補完される。

[3] MAWB 番号（「MAWB 番号＊」欄）

MAWB 番号（11 桁以内）を必須入力する。

孫混載仕分けの場合は、HAWB 番号（16 桁以内）を入力する。

[4] 孫混載表示（「孫混載表示」欄）

孫混載仕分けの場合は、「Y」を入力する。

[5] 到着便名1 (「到着便名*」欄左)

航空会社コード (「業務コード集」参照) (2桁) + フライトナンバー (3桁又は4桁) を必須入力する。

フライトナンバーの1桁目から3桁目までは数字、4桁目は英数字での入力が可能である。

[6] 到着便名2 (「到着便名*」欄中)

到着便名の日付部を「DDMMM」 (例: 1月1日の場合は「01JAN」) の形式で必須入力する。

[7] 到着空港 (「到着便名*」欄右)

到着空港のIATAコード (「業務コード集」参照) を必須入力する。

[8] 仕出地 (「仕出地*」欄)

仕出地のIATAコード (「業務コード集」参照) を必須入力する。

なお、仕出地がシステムに登録されていない場合は、「ZZZ」を入力する。

[9] ジョイント混載 (「ジョイント混載」欄)

ジョイント混載の場合は、「J」を入力する。

※ 以下 [10] から [24] までの項目は、最大 20 欄まで繰り返し入力することができる。

[10] HAWB番号 (「HAWB番号」欄)

HAWB番号 (16桁以内) を必須入力する。

なお、入力内容を対象外とする場合は、先頭に「XXX」を付して入力する。

[11] 総個数 (「総個数」欄)

総個数を整数入力する。

[12] 総重量 (「総重量」欄左)

総重量を入力する。

なお、小数点以下第1位まで入力することができる。

[13] 重量単位コード (「総重量」欄右)

次の区分に応じたコードを入力する。

なお、2欄目以降の入力を省略した場合は、上位欄の重量単位コードが引き継がれる。

区 分	コード
キログラム	KGM
ポンド	LBR

[14] 品名 (「品名」欄)

貨物の品名を入力する。

なお、2欄目以降の入力を省略した場合は、上位欄の品名が引き継がれる。

[15] 特殊貨物記号 (「SPC」欄)

特殊貨物の場合は、SPC (特殊貨物) コード (「業務コード集」参照) を入力する。

[16] 仕向地 (「仕向地」欄)

HAWBに係る貨物の仕向地を次により入力する。

なお、2欄目以降の入力を省略した場合は、上位欄の仕向地が引き継がれる。

① 一般貨物の場合

国内の仕向地のIATAコード (「業務コード集」参照) を入力する。

② 仮陸揚貨物の場合

外国の仕向地の I A T A コード（「業務コード集」参照）を入力する。

[17] 搬入保税蔵置場（「搬入地域」欄）

仮陸揚貨物の場合は、搬入予定先の保税蔵置場の保税地域コード（「業務コード集」参照）を入力する。

[18] 荷送人名（「荷送人」欄）

荷送人名を入力する。

[19] 荷送人住所（「荷送人住所」欄）

荷送人住所を入力する。

[20] 荷送人電話番号（「荷送人電話番号」欄）

荷送人電話番号を市外局番から入力する（区切り符号は入力しない。）。

[21] 荷受人コード（「荷受人」欄左）

荷受人コードの輸出入者コードを入力する。

なお、枝番（4桁）を入力しない場合はシステムにより自動的に「0000」が補完される。

[22] 荷受人名（「荷受人」欄右）

荷受人名を入力する。

[23] 荷受人住所（「荷受人住所」欄）

荷受人住所を入力する。

[24] 荷受人電話番号（「荷受人電話番号」欄）

荷受人電話番号を市外局番から入力する（区切り符号は入力しない。）。

(v) HAWB 貨物の登録に併せて積荷目録事前報告処理を行う場合

[1] 委託元混載業（「委託元混載業」欄）

入力者が代理入力者の場合は、委託元混載業者の利用者コード（「業務コード集」参照）を入力する。

[2] 税関官署（「税関官署」欄）

税関官署コード（「業務コード集」参照）を入力する。

入力がない場合は、「到着便名＊」欄右に入力された内容により、到着空港を管轄する税関官署が自動補完される。

[3] MAWB 番号（「MAWB 番号＊」欄）

MAWB 番号（11桁以内）を必須入力する。

孫混載仕分けの場合は、HAWB 番号（16桁以内）を入力する。なお、積荷目録事前報告処理は孫混載仕分けに対応していないため、本登録後に後記（ハ）（HAWB 貨物の登録に併せて積荷目録事前報告処理を行うときで孫混載仕分けが含まれる場合）の方法により、別途処理を実施する必要がある（HAWB 貨物の登録は正常終了する。）。

[4] 孫混載表示（「孫混載表示」欄）

孫混載仕分けの場合は、「Y」を入力する。

[5] 到着便名 1（「到着便名＊」欄左）

航空会社コード（「業務コード集」参照）（2桁）＋フライトナンバー（3桁又は4桁）を必須入力する。

フライトナンバーの1桁目から3桁目までは数字、4桁目は英数字での入力が可能である。

[6] 到着便名2 (「到着便名*」欄中)

到着便名の日付部を「DDMMM」(例: 1月1日の場合は「01JAN」)の形式で必須入力する。

[7] 到着空港 (「到着便名*」欄右)

到着空港のIATAコード(「業務コード集」参照)を必須入力する。

[8] 仕出地 (「仕出地*」欄)

仕出地のIATAコード(「業務コード集」参照)を必須入力する。

なお、仕出地がシステムに登録されていない場合は、「ZZZ」を入力する。

[9] ジョイント混載 (「ジョイント混載」欄)

ジョイント混載の場合は、「J」を入力する。

※ 以下 [10] から [24] までの項目は、最大20欄まで繰り返し入力することができる。

[10] HAWB番号 (「HAWB番号」欄)

HAWB番号(16桁以内)を必須入力する。

なお、入力内容を対象外とする場合は、先頭に「XXX」を付して入力する。この場合、積荷目録事前報告処理の対象にはならない。

また、スプリット貨物の2便目以降については「HAWB情報登録(輸入)」業務(業務コード: HCH01)による入力できないことから、積荷目録の報告は前章第2節1(4)イ(積荷目録の報告方法(ハウスマニフェスト))により実施する。

[11] 総個数 (「総個数」欄)

総個数を整数入力する。

[12] 総重量 (「総重量」欄左)

総重量を入力する。

なお、小数点以下第1位まで入力することができる。

[13] 重量単位コード (「総重量」欄右)

次の区分に応じたコードを入力する。

なお、2欄目以降の入力を省略した場合は、上位欄の重量単位コードが引き継がれる。

区 分	コード
キログラム	KGM
ポンド	LBR

[14] 品名 (「品名」欄)

積荷内容が容易に特定できるよう具体的かつ詳細な貨物の品名を必須入力する(あいまいな表記の品名は入力不可)。

なお、2欄目以降の入力を省略した場合は、上位欄の品名が引き継がれる。

[15] 特殊貨物記号 (「SPC」欄)

特殊貨物の場合は、SPC(特殊貨物)コード(「業務コード集」参照)を入力する。

[16] 仕向地 (「仕向地」欄)

HAWBに係る貨物の仕向地を次により必須入力する。

なお、2欄目以降の入力を省略した場合は、上位欄の仕向地が引き継がれる。

① 一般貨物の場合

国内の仕向地の I A T Aコード（「業務コード集」参照）を入力する。

② 仮陸揚貨物の場合

外国の仕向地の I A T Aコード（「業務コード集」参照）を入力する。

[17] 搬入保税蔵置場（「搬入地域」欄）

仮陸揚貨物の場合は、搬入予定先の保税蔵置場の保税地域コード（「業務コード集」参照）を入力する。

[18] 荷送人名（「荷送人」欄）

荷送人名を必須入力する。

[19] 荷送人住所（「荷送人住所」欄）

荷送人住所を必須入力する。

[20] 荷送人電話番号（「荷送人電話番号」欄）

荷送人電話番号を市外局番から入力する（区切り符号は入力しない。）。

[21] 荷受人コード（「荷受人」欄左）

荷受人コードの輸出入者コードを入力する。

なお、枝番（4桁）を入力しない場合はシステムにより自動的に「0000」が補完される。

[22] 荷受人名（「荷受人」欄右）

荷受人名を必須入力する。

[23] 荷受人住所（「荷受人住所」欄）

荷受人住所を必須入力する。

[24] 荷受人電話番号（「荷受人電話番号」欄）

荷受人電話番号を市外局番から入力する（区切り符号は入力しない。）。

(ハ) HAWB 貨物の登録に併せて積荷目録事前報告処理を行うときで孫混載仕分けが含まれる場合

前記(ロ) (HAWB 貨物の登録に併せて積荷目録事前報告処理を行う場合)において、[3] MAWB 番号（「MAWB 番号*」欄）に孫混載仕分けに係るHAWB 番号（16桁以内）を入力した場合は、その桁数により、次の処理を実施することで積荷目録の報告を訂正等する必要がある。

① HAWB 番号の桁数が 11 桁以内である場合

前章第2節1(4)ロ（積荷目録の訂正方法（ハウスマニフェスト））により、積荷目録の報告における「MAWB 番号」欄を航空会社が発行するAWB 番号に訂正する。

② HAWB 番号の桁数が 12 桁以上である場合

積荷目録事前報告処理がエラーとなるため、後記（5）（出力情報）におけるエラー通知情報（積荷目録事前報告情報（ハウス）（HCH01））を確認の上、前章第2節1(4)イ（積荷目録の報告方法（ハウスマニフェスト））により、改めて当該HAWB 番号に係る積荷目録の報告を行う。

(4) HAWB情報の終了登録

前記 (3) (登録の方法) により登録対象のMAWBに係る全てのHAWB情報の登録が終了した場合 (ジョイント混載の場合は自社分のみ。) は、「HAWB情報登録 (輸入)」業務 (業務コード: HCH01) において入力した最後欄の次の「HAWB番号」欄に「END」を入力し送信することにより、登録終了となる。

なお、「END」を入力した欄については積荷目録事前報告処理の対象とはならない。

(5) 出力情報

前記 (3) (登録の方法) によりシステムに登録がされた場合は、次の情報がそれぞれ配信される。

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
不突合情報 (DISCREPANCY NOTICE) (※)	AAS0180	次の条件を全て満たす場合。 ① 入力されたMAWB番号に対して「混載貨物確認情報登録」業務 (業務コード: HPK) 及び本業務により終了入力が行われている場合。 ただし、ジョイント混載貨物の場合は、混載業毎の「混載貨物確認情報登録」業務 (業務コード: HPK) 及び本業務の終了入力が行われている場合。 ② 全量到着済でないHAWBがある場合。 ③ 出力対象HAWBが100件未満である場合。 なお、出力対象HAWBが100件以上存在する場合、注意喚起メッセージが出力されるが、不突合情報は出力されないため、必要に応じて「輸入便情報照会 (HAWB)」業務 (業務コード: IMF12) にて確認を行う。	入力者
			「HAWB情報登録 (輸入)」業務 (業務コード: HCH01) が代理入力者により行われた場合は、その委託元混載業
			「HAWB情報登録 (輸入)」業務 (業務コード: HCH01) を実施した混載業
			「混載貨物確認情報登録」業務 (業務コード: HPK) を実施した保税蔵置場
搬入状況通知情報 (輸入) (BOND IN STATUS INFORMATION) (※) NOTICE) (※)	AAS0110	次の条件を全て満たす場合。 ① 突合済である場合。 ② 税関届出を必要とする事故貨物が存在する場合。	入力者
			委託元混載業
			「混載貨物確認情報登録」業務 (業務コード: HPK) を実

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
			施した保税蔵置場 「混載貨物確認情報登録」業務（業務コード：HPK）を実施した保税蔵置場を管轄する税関
保税関係確認情報	AAL5010	入力されたHAWBに対して次の条件を全て満たす場合。 ① 税関届出用の特殊貨物記号が入力されている場合。 ② 本業務による当該情報の配信先がシステム設定されていない場合。 ③ 税関官署が入力されている場合。	本業務で入力された税関 （保税担当部門）
		入力されたHAWBに対して次の条件を全て満たす場合。 ① 税関届出用の特殊貨物記号が入力されている場合。 ② 本業務による当該情報の配信先がシステム設定されていない場合。 ③ 税関官署が入力されていない場合。	到着空港を管轄する税関 （保税担当部門）
		入力されたHAWBに対して次の条件を全て満たす場合。 ① 税関届出用の特殊貨物記号が入力されている場合。 ② 本業務による当該情報の配信先がシステム設定されている場合。 ③ 「混載貨物確認情報登録」業務（業務コード：HPK）が実施されている場合。	「混載貨物確認情報登録」業務（業務コード：HPK）を実施した保税蔵置場を管轄する税関 （保税担当部門）
積荷目録事前報告情報（ハウス）	AAS1500	次の条件を全て満たす場合。 ① 積荷目録事前報告処理を利用した場合。 ② 入力した到着便名に対して初めて登録した場合。	航空会社（機長代行者）（注1）

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
エラー通知情報(積荷目録事前報告情報(ハウス)(HCH01)) (注2)	AAS1650	次の条件を全て満たす場合。 ① 積荷目録事前報告処理を利用した場合。 ② エラーのため報告できなかったHAWB番号が存在する場合。	入力者

(※) 括弧内英字は帳票タイトル

(注1) 前記(2) (積荷目録事前報告処理を利用するための事前手続) でシステムに登録した利用者コード (航空会社 (機長代行者)) を指す。

(注2) 「エラー通知情報(積荷目録事前報告情報(ハウス)(HCH01))」が配信された場合は、出力されたHAWB番号に係る登録内容を確認の上、前章第2節1(4)イ (積荷目録の報告 (ハウスマニフェスト)) により、改めて当該HAWB番号に係る積荷目録の報告を行う。

2 混載貨物確認情報の登録

HAWB情報がシステムに登録されている貨物について、混載仕分けの結果 (以下この章において「混載貨物確認情報」という。) を次によりシステムに登録する。

なお、スプリットの場合は、到着個数等をシステムに登録し、後続便で残りの貨物が到着した場合は、再度、後続便の到着個数等を登録する。

(1) 登録の単位

MAWB番号及びHAWB番号単位とする。

(2) 登録の方法

「混載貨物確認情報登録」業務 (業務コード: HPK) を利用して、次の事項を入力し送信する。

[1] MAWB番号 (「MAWB番号*」欄)

MAWB番号を必須入力する。

ただし、孫混載仕分けの場合は、HAWB番号を入力する。

[2] 孫混載及び無料期間適用表示 (「孫混載及び無料期間適用表示」欄)

① システムにより蔵置料金計算を行う旨及び無料期間を適用する旨が登録されている利用者である場合は次による。

イ 「MAWB番号*」欄に入力したMAWBが運送中 (他空港向一括保税運送中及び同一許可内運送中を除く。) の場合は次の区分に応じたコードを入力する。

区 分	コード
孫混載仕分け以外の場合であって、保管料の無料期間を適用する場合	(入力しない。)
孫混載仕分けの場合であって、保管料の無料期間を適用する場合	Y
孫混載仕分け以外の場合であって、保管料の無料期間を適用しない場合	A

孫混載仕分けの場合であって、保管料の無料期間を適用しない場合	B
--------------------------------	---

ロ 前記イ以外の場合は次の区分に応じたコードを入力する。

区 分	コード
孫混載仕分け以外の場合	(入力しない。)
孫混載仕分けの場合	Y

② 前記①以外の場合は次の区分に応じたコードを入力する。

区 分	コード
孫混載仕分け以外の場合	(入力しない。)
孫混載仕分けの場合	Y

[3] 到着便名1 (「到着便名*」欄左)

航空会社コード (「業務コード集」参照) (2桁) + フライトナンバー (3桁又は4桁) を必須入力する。

なお、フライトナンバーの1桁目から3桁目までは数字、4桁目は英数字での入力が可能である。

[4] 到着便名2 (「到着便名*」欄中)

到着便名の日付部を「DDMMM」(例: 1月1日の場合は「01JAN」) の形式で必須入力する。

[5] 到着空港 (「到着便名*」欄右)

到着空港のIATAコード (「業務コード集」参照) を入力する。

[6] ジョイント混載 (「ジョイント」欄)

ジョイント混載の場合は、「J」を入力する。

[7] 混載業 (「混載業」欄)

混載業者の利用者コード (「業務コード集」参照) を入力する。

[8] 貨物取扱開始年月日 (「取扱開始日時*」欄左)

混載仕分けを開始した年月日を西暦 (8桁) で必須入力する。

[9] 貨物取扱開始時刻 (「取扱開始日時*」欄右)

混載仕分けを開始した時刻を24時間制 (4桁) で必須入力する。

[10] 貨物取扱終了年月日 (「取扱終了日時*」欄左)

混載仕分けを終了した年月日を西暦 (8桁) で必須入力する。

[11] 貨物取扱終了時刻 (「取扱終了日時*」欄右)

混載仕分けを終了した時刻を24時間制 (4桁) で必須入力する。

※ 以下 [12] から [19] までの項目は、最大10欄まで繰り返し入力することができる。

[12] HAWB番号 (「HAWB番号」欄)

HAWB番号を必須入力する。

ジョイント混載の場合は自社扱いの混載貨物のHAWB番号を入力する。

他社扱いの混載貨物は、入力不可。

なお、入力内容を対象外とする場合は、先頭に「XXX」を付して入力する。

[13] 個数 (「個数」欄)

個数を整数入力する。

[14] 重量（「重量」欄左）

重量を入力する。

なお、小数点以下第1位まで入力することができる。

[15] 重量単位コード（「重量」欄右）

次の区分に応じたコードを入力する。

なお、2欄目以降の入力を省略した場合は、上位欄の重量単位コードが引き継がれる。

区 分	コード
キログラム	K G M
ポンド	L B R

[16] 特殊貨物記号（「S P C」欄）

特殊貨物の場合は、S P C（特殊貨物）コード（「業務コード集」参照）を入力する。

[17] 事故貨物（「事故」欄）

事故貨物の場合は、事故貨物コード（「業務コード集」参照）を入力する。

なお、税関に届出が必要な事故貨物の場合は、コードの先頭に「Z」を入力する。

[18] 手作業記号（「手作業記号」欄）

ロケーション管理をマニュアルで行う場合は、「M」を入力する。

他所蔵置場所への搬入の場合は、入力不可。

[19] ロケーション（「ロケーション」欄）

ロケーションを入力する。

他所蔵置場所への搬入の場合は、入力不可。

(3) 混載貨物確認情報の終了登録

前記(2)(登録の方法)によりMAWBに係る全ての混載貨物確認情報の登録が終了した場合は、「混載貨物確認情報登録」業務（業務コード：HPK）において、入力した最後のHAWB情報の次の「HAWB番号」欄に「END」を入力し送信することにより終了登録となる。

また、ジョイント混載貨物について1ジョイント構成者あたりの全ての混載貨物確認情報の登録が終了した場合は、入力した最後のHAWB情報の次の「HAWB番号」欄に「ENDBB」を入力する。

なお、全ての混載業者分の登録が完了した場合は、「END」を入力する。

(4) 出力情報

前記(2)(登録の方法)によりシステムに登録がされた場合は、次の情報がそれぞれ配信される。

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
不一致情報A (UNMATCH LIST URGENT CARGO) (※)	A A S O 1 6 0	次の条件のいずれかを満たす場合。	税関
		① 貨物到着前輸入申告扱いの予備 申告、貨物到着前輸入申告扱いの 輸入(引取)申告又は到着即時輸 入申告扱いの予備申告(税関空港 で貨物を引き取る場合又は航空 貨物の集積所で貨物を引き取る	(通関担当部門) 到着即時輸入申告 扱いの予備申告を 行った通関業

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
		場合) の場合で、本申告許可後、最初の到着便に対して本業務が入力され、許可個数と入力個数が同一ではない場合。 ② 貨物到着前輸入申告扱いの予備申告、貨物到着前輸入申告扱いの輸入(引取)申告又は到着即時輸入申告扱いの予備申告(税関空港で貨物を引き取る場合又は航空貨物の集積所で貨物を引き取る場合) の場合で、本申告許可後、2 便目以降の到着便に対して本業務を入力した場合。	
保税関係確認情報	A A L 5 0 1 0	次の条件のいずれかを満たす場合。 ① 税関届出用の特殊貨物記号が入力されたHAWBが存在する場合。 ② HAWB情報登録(輸入)業務(業務コード:HCH)で、混載貨物確認情報登録業務(業務コード:HPK)を行った保税蔵置場を管轄する税関に対して出力する旨がシステムに登録されており、かつ、システムに登録されている税関届出用の特殊貨物記号が本業務で入力している税関届出用特殊貨物記号と異なる場合。	蔵置場所の管轄税関(保税担当部門)
他所蔵置搬入確認情報(輸入)	A A S 0 1 7 0	他所蔵置貨物である場合。	他所蔵置場所の管轄税関(保税担当部門)

(※) 括弧内英字は帳票タイトル

3 HAWB情報及び混載貨物確認情報の突合処理

「HAWB情報登録(輸入)」業務(業務コード:HCH01)及び「混載貨物確認情報登録」業務(業務コード:HPK)によりシステムに登録された情報のうち、HAWB番号単位に「個数」及び「重量」について、突合処理を行う。

(1) 突合の場合

税関への届出を必要とする事故貨物が存在する旨を登録した場合で、当該貨物が突合しているときは、HAWB情報及び混載貨物確認情報の登録者と税関に、「搬入状況通知情報(輸入)(BOND

IN STATUS INFORMATION) (括弧内英字は帳票タイトル)」(出力情報コード：AAS0110) がそれぞれ配信される。

なお、後記(3) (不突合の場合) に掲げる「不突合情報 (DISCREPANCY NOTICE) (括弧内英字は帳票タイトル)」(出力情報コード：AAS0180) が配信されたため、この章第2節 (HAWB情報等の訂正手続) により訂正され、突合した場合においても配信される。

(2) スプリット (突合) の場合

税関への届出を必要とする事故貨物が存在する旨の登録を行った場合で「HAWB情報登録(輸入)」業務(業務コード：HCH01)の総個数より「混載貨物確認情報登録」業務(業務コード：HPK)又は「混載貨物確認情報訂正」業務(業務コード：CHP)の確認個数の合計が少ないときは、HAWB情報及び混載貨物確認情報の登録者と税関に、「搬入状況通知情報 (輸入) (BOND IN STATUS INFORMATION) (括弧内英字は帳票タイトル)」(出力情報コード：AAS0110) がそれぞれ配信される。

また、HAWB情報及び混載貨物確認情報の登録者に、「不突合情報 (DISCREPANCY NOTICE) (括弧内英字は帳票タイトル)」(出力情報コード：AAS0180) が配信される。

なお、当該情報が配信された場合は、後記(3) (不突合の場合) の未突合及び不突合事由コード表に従い原因を調査し、原因が判明した場合は、この章第2節 (HAWB情報等の訂正手続) により訂正する。

(3) 不突合の場合

「HAWB情報登録 (輸入)」業務(業務コード：HCH01)及び「混載貨物確認情報登録」業務(業務コード：HPK)のうち、いずれか一方の業務が行われていないHAWBが存在する場合 (以下この章において「未突合」という。)又は突合処理の結果、突合していない場合 (前記(2) (スプリット (突合) の場合) を除く。以下この章において「不突合」という。)は、HAWB情報の登録者にMAWB単位の当該情報をとりまとめた「不突合情報 (DISCREPANCY NOTICE) (括弧内英字は帳票タイトル)」(出力情報コード：AAS0180) が配信される。

なお、当該情報が配信された場合で、下表に従い原因を調査し、原因が判明したときは、この章第2節 (HAWB情報等の訂正手続) により訂正する。

(未突合及び不突合事由コード表)

出力コード	種 類	理 由
MSCA	未突合	HAWB情報がシステムに登録され、混載貨物確認情報がシステムに登録されていない。
MSAW	未突合	混載貨物確認情報がシステムに登録され、HAWB情報がシステムに登録されていない。
SPLIT (注)	スプリット	「HAWB情報登録 (輸入)」業務(業務コード：HCH01)で入力された総個数より「混載貨物確認情報登録」業務(業務コード：HPK)又は「混載貨物確認情報訂正」業務(業務コード：CHP)で入力された確認個数の合計が少ない。

出力コード	種 類	理 由
OVER（注）	不突合	「HAWB情報登録（輸入）」業務（業務コード：HC H 0 1）で入力された総個数より「混載貨物確認情報登録」業務（業務コード：HPK）又は「混載貨物確認情報訂正」業務（業務コード：CHP）で入力された確認個数の合計が多い。
WGT（注）	重量不突合	「HAWB情報登録（輸入）」業務（業務コード：HC H 0 1）で入力された総重量より「混載貨物確認情報登録」業務（業務コード：HPK）又は「混載貨物確認情報訂正」業務（業務コード：CHP）で入力された確認重量の合計が多い。
* U *	未突合	到着即時輸入申告扱いの予備申告（税関空港で貨物を引取る場合。）が登録され、貨物確認情報が登録されていない。
* J *	未突合	貨物到着前輸入申告扱いの予備申告が登録され、貨物確認情報が登録されていない。

（注）不突合の種類の「WGT」と「SPLIT」が重複した場合は「WGT」、「WGT」と「OVER」が重複した場合は、「OVER」を優先して表示する。